

令和元（2019）年度事業報告

平成31（2019）年4月1日から令和2（2020）年3月31日までの事業概要は次のとおりである。

〔1〕会 員

令和元（2019）年度末の会員数は次のとおりである。

区 分	会 員 数	備 考
個人正会員	1648名	うち海外在住外国人正会員5名
特別正会員	41名	
団体正会員（公益）	74口	
団体正会員	66口	
学生会員	399名	
名誉会員	14名	
合 計	2242名	

〔2〕運営に関する会議

1. 通常総会の開催

第39回通常総会を次のとおり開催した。

(1) 日 時 令和元（2019）年6月18日（火） 13時00分～13時37分

(2) 場 所 タワーホール船堀（東京都江戸川区）

(3) 出席者 974名

(4) 議 題

1) 平成30（2018）年度決算（案）について

2) 理事および監事の選任について

3) 顧問および参与の選任について

4) 名誉会員の推挙について

5) 会費の改定について

報告 平成30（2018）年度事業報告

総会に続いて、各賞の発表と表彰、受賞者講演、特別講演が行われた。

2. 理事会の開催

理事会を次のとおり開催した。

(1) 第121回理事会

1) 日 時 令和元（2019）年5月29日（水） 17時00分～18時55分

2) 場 所 学会事務局（東京都江東区）

3) 出席者 小野会長他理事15名、監事2名、運営幹事2名、他に事務局

4) 内 容

- ア. 入退会者等の承認
- イ. 研究委員会の活動報告と継続および新設申請承認
- ウ. 論文賞・論文奨励賞の選考
- エ. 特定費用準備資金（設立 50 周年事業）について
- オ. 次期理事・監事・顧問・参与候補者および顧問・参与候補者について
- カ. 平成 30（2018）年度決算（案）および事業報告について
- キ. 第 38 回通常総会の議案及び収集の承認
- ク. 総会における出欠連絡、委任、議決権行使方法承認
- ケ. 規程制定および改訂
- コ. 代表理事、業務執行理事の職務執行の報告事項
- サ. その他

(2) 第 122 回理事会

- 1) 日 時 令和元（2019）年 6 月 18 日（火）14 時 20 分～14 時 43 分
- 2) 場 所 タワーホール船堀 407 会議室（東京都江戸川区船堀）
- 3) 出席者 理事 18 名、監事 2 名、事務局長
- 4) 内 容
 - ア. 会長の選定
 - イ. 副会長、常務理事及び運営理事（担当理事）の選任
 - ウ. 副会長の会長業務執行に係る職務の代行順序の決定
 - エ. 表彰委員会委員長の委嘱

(3) 第 123 回理事会

- 1) 日 時 令和元（2019）年 7 月 26 日（金）16 時 00 分～17 時 47 分
- 2) 場 所 学会事務局（東京都江東区）
- 3) 出席者 松井会長他理事 19 名、監事 1 名、運営幹事 3 名、他に事務局
- 4) 内 容
 - ア. 令和元（2019）年度運営幹事について
 - イ. 細則および規程の改定について
 - ウ. 入退会者および特別正会員への移行の承認
 - エ. 代表理事、業務執行理事の職務執行の報告
 - オ. その他

(4) 第 124 回理事会

- 1) 日 時 令和 2（2020）年 3 月 17 日（火）13 時 00 分～14 時 50 分
- 2) 場 所 学会 WEB 会議室
- 3) 出席者 松井会長他理事 22 名、監事 2 名、運営幹事 14 名、他に事務局
- 4) 内 容
 - ア. 運営理事の担当交代
 - イ. 入退会者および特別正会員への移行の承認

- ウ. 学会賞・学術賞・技術賞・技術奨励賞・特別功労賞の選考
- エ. 規程等の改定、制定について
- オ. 令和2（2020）年度事業計画案と予算案の承認
- カ. 令和元年台風19号による被災者に対する会費免除について
- キ. 研究委員会の新設
- ク. 参与の交代
- ケ. 代表理事、業務執行理事の職務執行の報告
- コ. その他

〔3〕 運営方法および財政改善に関する検討

健全な運営のための業務改革と財政改善を積極的に推進した。

〔4〕 年会

第54回日本水環境学会年会を次のとおり開催した。

1. 開催日 令和2（2020）年3月16日（月）～18日（水）
2. 場 所 誌上開催
3. 年会講演要旨DL画面へのアクセス権を得た数 974件
4. 発表件数 657件

〔5〕 シンポジウム

第22回日本水環境学会シンポジウムを次のとおり開催した。

1. 開催日 令和元（2019）年9月5日（木）～6日（金）
2. 場 所 北海学園大学工学部（北海道札幌市）
3. 参加者 399名
4. 16の研究委員会と本部企画によるセッションの他、企業展示、ランチョンセミナー、各賞の発表と表彰が行われた。

〔6〕 国際会議

Water and Environment Technology Conference 2019(WET2019)を開催した。

（一部は、水ing株式会社からの出捐事業であった。）

1. 開催日 令和元（2019）年7月13日（土）～14日（日）
2. 場 所 大阪大学吹田キャンパス（大阪府吹田市）

〔7〕 機関誌

1. 機関誌「水環境学会誌」を毎月発行し、会員に配布した。
2. 機関誌“Journal of Water and Environment Technology”を発行し、科学技術振興機構（JST）が運営するJ-STAGE上で公開した。
3. 機関誌「水環境学会誌」原著論文編およびバックナンバーを科学技術振興機構（JST）が運営するJ-STAGE上で公開した。
4. 「水環境学会誌」およびその前身の「水質汚濁研究」のVol.1～Vol.30のPDF版を収めたDVD-ROMを販売した。

[8] IWA 活動への協力

1. IWA およびその国内委員会の活動に参加し、IWA 活動を支援・推進した。

[9] 出版企画

1. 「水環境の事典」の編集を行った。

[10] 支部活動

7 支部がそれぞれ総会、講演会、セミナー、見学会、表彰、研究助成等を実施した。

[11] 研究委員会活動

19 研究委員会（嫌気性微生物処理、MS 技術、生物膜法、身近な生活環境、微生物生態と水環境工学、バイオアッセイによる安全性評価、土壌地下水汚染、水中の健康関連微生物、湿地・沿岸域、流域物質動態とノンポイントソース、膜を利用した水処理技術、紫外線を利用した水処理技術、産業排水の処理・回収技術、電気化学的技術、熱帯・亜熱帯地域水環境、農産業に関わる水・バイオマス循環技術、将来の水環境変化に対応した水供給システム、汽水域、地域水環境行政）が、シンポジウムでセッションを企画するなどそれぞれ活動を行った。

[12] 表 彰

2019 年度の学会賞、学術賞、論文賞、論文奨励賞（廣瀬賞）、技術賞、技術奨励賞および水環境文化賞の受賞者を選考の結果、次の各氏・団体に決定した（敬称略）。また、年会優秀発表特別賞、年会学生ポスター発表特別賞、博士研究奨励賞、水環境国際招聘賞、水環境国際活動賞、年間優秀論文賞および WET 優秀賞を選考し、次の各氏に授賞した（敬称略・50 音順）。

(1) 学会賞

受 賞 者 おの よしろう
小野 芳朗（京都工芸繊維大学 理事・副学長）

(2) 学術賞

受 賞 者 いけ みちひこ
池 道彦（大阪大学大学院工学研究科・教授）
対象研究 生物機能を活用した水環境保全・浄化と資源生産に関する研究

(3) 論文賞

受 賞 者 くりす ふとし
栗栖 太（東京大学大学院工学系研究科・准教授）
主要対象論文 Molecular characteristics of dissolved organic matter transformed by O₃ and O₃/H₂O₂ treatments and the effects on formation of unknown disinfection by-products

掲 載 誌 *Water Research*, Vol. 159, 214-222 (2019)

受 賞 者 り ぎよくゆう
李 玉友（東北大学大学院工学科・教授）
主要対象論文 Anaerobic treatment of N, N-dimethylformamide-containing wastewater by co-culturing two sources of inoculum

掲 載 誌 *Water Research*, Vol. 139, 228-239 (2018)

(4) 論文奨励賞（廣瀬賞）

受 賞 者 おがた ふみひこ
緒方 文彦（近畿大学薬学部医療薬学科・講師）
対象論文 Evaluation of phosphate ion adsorption from aqueous solution by nickel-aluminum complex hydroxides

掲 載 誌 *Water Science & Technology*, Vol.2017, No.3, 913-921 (2018)

受 賞 者 おの であら たかし
小野寺 崇 (国立環境研究所 地域環境研究センター・主任研究員)

対 象 論 文 Evaluation of trophic transfer in the microbial food web during sludge degradation based on ¹³C and ¹⁵N natural abundance

掲 載 誌 *Water Research*, Vol.146, 30-36 (2018)

受 賞 者 ふかほり しゅうじ
深堀 秀史 (愛媛大学紙産業イノベーションセンター・准教授)

対 象 論 文 Preparation of flexible TiO₂/zeolite composite sheet for removal of sulfamethazine from wastewater using papermaking technique

掲 載 誌 *Journal of Water and Environment Technology*, Vol.17, No.6, 395-406 (2019)

(5) 技 術 賞
該当者なし

(6) 技 術 奨 励 賞

受 賞 者 いであ株式会社 環境調査事業本部 環境調査事業部
ふるとの たろう
古殿 太郎
たかしま そうたろう
高島 創太郎
にしばやし けんいちろう
西林 健一郎
おおの あつお
大野 敦生

対 象 調 査 技 術 水中 3D スキャナーを活用した水中可視化技術

受 賞 者 広島県立総合技術研究所保健環境センター
きむら じゅんこ
木村 淳子
まきもと よしやす
榎本 佳泰
おおはら としひこ
大原 俊彦

対 象 調 査 技 術 水中の有機化学物質の迅速・簡易な分析前処理技術

(7) 水環境文化賞

1) 水環境文化賞

受 賞 者 堂々川ホテル同好会 (広島県福山市)

対 象 活 動 堂々川の歴史的砂留群におけるホテルと花の環境整備活動

受 賞 者 琵琶湖博物館うおの会 (滋賀県草津市)

対 象 活 動 滋賀県を中心とした魚類生息調査と地域の環境教育

2) 水環境文化賞「児童・生徒の部 (みじん子賞)」

受 賞 者 青森県立名久井農業高等学校 環境研究班 (青森県三戸郡南部町)

対 象 活 動 水質浄化及び水質汚濁防止に関する新規技術開発

受 賞 者 いわき市立夏井小学校・小野町立夏井第一小学校 (福島県いわき市・田村郡小野町)

対 象 活 動 夏井川を対象とした水環境学習活動

(8) 年会優秀発表特別賞及び年会優秀発表賞受賞者国際会議発表助成

1) 年会優秀発表特別賞

うちだ	ひろむ	
内田	浩夢	(広島大学大学院)
おおしま	やすひろ	
大島	靖弘	(京都大学大学院)
かみぞの	あきみち	
上菌	亮達	(北海道大学大学院)
きっかわ	ゆうじ	
吉川	祐司	(北海道大学大学院)
くりはら	たくや	
栗原	拓也	(新潟薬科大学大学院)
こいけ	かずよし	
小池	主祥	(金沢大学大学院)
ささき	たかなり	
佐々木	敬成	(東京都市大学大学院)
しおはら	たいせい	
塩原	大晟	(群馬大学大学院)
すずき	もとあき	
鈴木	元彬	(東京大学大学院)
ただ	ゆうと	
多田	悠人	(京都大学大学院)
なもと	こうき	
名本	昂生	(東京大学大学院)
なんば	つねゆき	
南波	恒行	(金沢大学大学院)
にしざわ	しょうた	
西澤	祥太	(北海道大学大学院)
のぐち	なおき	
野口	直暉	(群馬大学大学院)
はやし	ともみ	
林	知美	(横浜国立大学大学院)
はやし	ひろゆき	
林	寛之	(北海道大学大学院)
ほそえ	あやか	
細江	彩華	(東京農工大学大学院)
ましこ	りほ	
益子	理保	(中央大学大学院)
やすい	みどり	
安井	碧	(東京大学大学院)
やまかわ		
山川	むつみ	(北海道大学大学院)
よしの	こうじ	
芳野	浩志	(京都大学大学院)
れん	ゆ	
任	羽	(大阪大学大学院)

(公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団からの出捐顕彰事業として、上記の22名に「年会優秀発表特別賞」を授与した。)

2) 年会優秀発表賞受賞者国際会議発表助成

とりい	しょうたろう	
鳥居	将太郎	(東京大学)

(公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団からの出捐顕彰事業として、上記に対し国際会議発表の旅費等を助成した。)

(9) 年会学生ポスター発表特別賞

いそ	ひかる	
磯	光	(東京大学)
いちはら		
市原	りえ	(北海道大学)
いわさき	ななみ	
岩崎	七海	(東洋大学)

うえはら	ゆうたろう	(東京大学)
上原	悠太郎	
おおば	こうへい	(東京農工大学)
大場	康平	
おかだ	ゆみ	(東洋大学)
岡田	有未	
おけたに	まさひろ	(高知大学)
桶谷	昌宏	
かしもと		
柏本	ゆかり	(北海道大学)
かねだ	あすか	
金田	明日香	(創価大学)
かわもと	たいと	
川本	泰斗	(広島大学)
すえ	なぎさ	
須江	渚	(北里大学)
すのうち	きみひと	
簾内	君仁	(秋田県立大学)
たけだ	そうた	
竹田	壮太	(秋田工業高等専門学校)
はまだ	りゅうたろう	
濱田	隆太郎	(鹿児島大学)
はらだ	ほだか	
原田	穂高	(広島大学)
ひろしま	なおと	
廣嶋	直人	(大阪大学)
ふじかわ	ゆき	
藤川	由季	(京都大学)
よしだ	きお	
吉田	輝生	(日本大学)
よしだ	みお	
吉田	実桜	(都城工業高等専門学校)

(ライオン株式会社からの出捐顕彰事業として、上記の 19 名に「年会学生ポスター発表特別賞」を授与した。)

(10) 博士研究奨励賞 (◎：最優秀賞)

◎Vu Duc CANH	(The University of Tokyo)
いしざわ ひでひろ	
石澤 秀紘	(大阪大学)
だんした つよし	
段下 剛志	(徳山工業高等専門学校)

(オルガノ株式会社からの出捐顕彰事業として、第 22 回シンポジウムで発表した上記の 3 名に「博士研究奨励賞」を授与し、うち 1 名に最優秀賞を授与した。)

(11) 水環境国際招聘賞 (JSWE-IDEA Water Environment International Exchange Award)

Guangli Liu	(Sun Yat-sen University, China)
Wei Qiao	(China Agricultural University, China)
Hyun-Woo Kim	(Jeonbuk National University, Korea)
Norhayati Abdullah	(Universiti Teknologi, Malaysia)

(いであ株式会社からの出捐顕彰事業として上記の 4 名の海外在住外国人会員に対し「水環境国際招聘賞」を授与し、来年度第 55 回年会で研究発表を行う来日費用等を助成し表彰することとなった。)

(12) 水環境国際活動賞 (JSWE-IDEA Water Environment International Activity Award)

あさだ やすひろ	
浅田 安廣	(国立保健医療科学院)

Japan-YWP 9th International Symposium in the Water and Environment

Technology Conference2020 (WET2020) –若手研究者の国際キャリア形成に向けて
(いであ株式会社からの出捐顕彰事業として、上記に対し「水環境国際活動賞」を授与し、国際
会議開催の費用の一部を助成することを決定した。)

(13) 年間優秀論文賞

対象論文 4種の生物処理方法における夏・冬季の下水の藻類生長阻害削減能力の評価及び
生長阻害物質の推定

受賞者 たけだ ふみひこ おかもと せいいちろう みなみやまみずひこ
武田 文彦、岡本 誠一郎、南山 瑞彦 (土木研究所)

掲載誌 水環境学会誌, Vol. 41, No.6,179-191 (2018)

対象論文 Spatial Distribution and Temporal Change of PPCPs and Microbial Fecal
Indicators as Sewage Markers after Rainfall Events in the Coastal Area of Tokyo

受賞者 なかじまみさき かすが いくろう くりす ふとし かたやまひろゆき
Chomphunut Poopipattana、中島 美咲、春日 郁朗、栗栖 太、片山 浩之、
ふるまいひろあき
古米 弘明 (東京大学大学院工学系研究科)

掲載誌 *Journal of Water and Environment Technology*, Vol.16,No.3,149-160 (2018)

(メタウォーター株式会社からの出捐顕彰事業として、上記の論文の著者に2018年「年間優秀論文賞」を授与し、第22回シンポジウムでの受賞者講演会の発表者に旅費等を助成した。)

(14) WET 優秀賞

1) WET Excellent Paper Award (WET 優秀論文賞)

対象論文 Feasibility of Mercury-free Chemical Oxygen Demand (COD) Test with
Excessive Addition of Silver Sulfate

受賞者 Naoyuki Kishimoto, Masashi Okumura (Ryukoku University)

2) WET Excellent Presentation Award (WET 優秀発表賞)

A. H. M. Faisal Anwar (Curtin University Australia)

Vu Duc Canh (The University of Tokyo)

Monychottepy Chanto (Kanazawa University)

To Uyen Dinh Thi (Ritsumeikan University)

Atsushi Fukuyama (Osaka University)

Irina Garcia Caceres (Tohoku University)

Takashi Hashimoto (The University of Tokyo)

Hayate Hiroki (University of Miyazaki)

Shoichiro Horikoshi (Kyoto University)

Hidehiro Ishizawa (Osaka University)

Zhe Kong (Tohoku University)

Mahasweta Laskar (Nagoya University)

Yemei Li (Tohoku University)

Namita Maharjan (National Institute of Technology, Nagaoka College)

Koji Matsunaga (Hokkaido University)

Toru Miwa (Nagaoka University of Technology)

Yoshifumi Nakazawa (Hokkaido University)

Iftita Rahmatika	(The University of Tokyo)
Takuya Sakomoto	(Tottori University)
Yuta Shinfuku	(Kagoshima University)
Daiki Shirakawa	(Hokkaido University)
Niva Sthapit	(University of Yamanashi)
Nana Yamaguchi	(University of Tokyo)
Yuanjun Zhao	(Hokkaido University)

(水 ing 株式会社からの出捐顕彰事業として、WET2019 の参加者のうち、上記 24 名の発表者に WET Excellent Presentation Award を授与した。WET2019 での発表に対する WET Excellent Paper Award は WET2020 で授与される。)

[13] 国際活動

国際会議の開催、国際活動への助成、外国人研究者の招聘、IWA 活動への協力などを行った。国際連携会員の拡大に努めた。また、国際会議参加援助として、京都会議記念基金を基に、中尾賢志^{なかおさとし}（大阪市立環境科学研究センター）氏に対して、2019 年 10 月 31 日～11 月 2 日に香港で開催された 8th IWA –ASPIRE Conference and Exhibition 香港 2019 参加のための渡航費用等を助成した。

[14] その他の事業活動

1. セミナー等の開催

セミナー等を次のとおり開催した。

(1) 第 28 回市民セミナー

- 1) テーマ 災害・防災の視点。水環境分野から見えること、できること。
- 2) 開催日 令和元（2019）年 8 月 2 日（金）
- 3) 場 所 東京会場：地球環境カレッジホール（東京都世田谷区）
大阪会場：いであ(株)大阪支社 ホール（大阪市住之江区）
- 4) 参加者 東京会場 60 名、大阪会場 35 名

(2) 第 65 回日本水環境学会セミナー

- 1) テーマ マイクロプラスチックをとりまく国内外の現状と課題
- 2) 開催日 令和 2（2020）年 1 月 24 日（金）
- 3) 場 所 自動車会館大ホール（東京都千代田区）
- 4) 参加者 118 名

2. 見学会の実施

第 34 回見学会を次のとおり実施した。

- 1) 開催日 令和元（2019）年 11 月 26 日（火）
- 2) 場 所 産業技術総合研究所、国立環境研究所（茨城県つくば市）
- 3) 参加者 35 名

3. 水環境懇話会の開催

水環境懇話会を次のとおり開催した。

(1) 第 47 回水環境懇話会

- 1) 開催日 令和元（2019）年 7 月 25 日（木）
- 2) 場 所 水 ing 株式会社 本社大会議室（東京都港区）
- 3) テーマ 排水処理分野における N₂O 排出に関する動向
- 4) 参加者 22 名

(2) 第 48 回水環境懇話会

- 1) 開催日 令和元（2019）年 10 月 18 日（金）
- 2) 場 所 水 ing 株式会社 本社大会議室（東京都港区）
- 3) テーマ 放射性物質に関する基礎・除染に関する基礎
環境中に排出された放射性物質の除染について—化学薬品を用いた除染技術の開発—
- 4) 参加者 24 名

4. 受託研究調査の実施

環境省からの受託研究調査を次のとおり実施した。

令和元年度 水環境健全性指標普及啓発ツール開発業務

5. その他

- (1) 関連学協会の講演会等を協賛・後援した。
- (2) IWA 団体会員の会費支払手続きを代行した。
- (3) 日本学術会議と連携して活動する防災減災・災害復興に関する学会ネットワーク「防災学術連携体」に継続して参画した。
- (4) 環境工学連合講演会を開催する日本学術会議土木工学・建築学委員会企画分科会環境工学連合小委員会に継続して参画した。